



東・西・南 交流する3小学校

① 大自然のなかで 競い合う 11/11 3小合同マラソン大会

前日までの雨はすっかりあがり、絶好のマラソン日和となりました。バスや徒歩で3小学校の子どもたちがマキノ中学校に集まりました。開会式の後にマキノ中体育科の先生のご指導により準備体操を行ったのですが、マキノ中1年生を合わせ総勢200名ほどが体操する姿を見ていると、3年後には移動することなく、この場が自分たちのフィールドとなって、一つの学校の仲間としてマラソン大会が開催されるんだなあという思いを抱いてしまいました。多くの応援団（3校の保護者のみなさま）に支えられながら秋の自然の中で自分の力を発揮しようとする子どもたちの姿がありました。

この日は、マキノ中を会場として借りただけではありません。1年前は、小学生としてこのマラソン大会に参加していた中学1年生が伴走し小学生を励まし続けてくれました。おそらく予定になかったレースまで伴走をしている生徒もあり、与えられたもの以上に、この行事に貢献したい思いを感じました。

② 多くの交流 支え合った修学旅行 10/31-11/1

数日前から雨の予報となっていた修学旅行。出発時は免れたものの湖西線の車窓には雨が当たり始めました。広島市の平和公園は雨の中の学習となりましたが、指導していただいた現地のガイドさんのおかげで有意義な学びができました。初日の天候には恵まれなかったものの、ホテルでは、東小・西小の6年生の子たちとふれあい、多くの交流を深める場面がありました。

楽しい時間を過ごすなか、少々困ったことも起こりました。「バッグのファスナーが外れて閉まらなくなった」と男性職員の部屋に持ってきた子がいます。5人の先生が代わる代わる修復を試みますがお手上げです。そこで、東小の先生がホテルの方に工具を借りにいらっしゃいました。ホテルのスタッフは工具を貸すのではなく、バッグを預かり、しばらくして開閉可能な状態になったバッグを部屋まで届けてくださいました。ホテルを出る翌朝、退館式でそのスタッフが挨拶をされたので、「バッグをなおしてくれたのは、あのやさしい人、お礼言おう」と持ち主である子に促すと、「もう言いました」と言葉が返ってきました。もう一つファスナーの話です。帰りの新幹線までの時間におみやげを買う時間がありました。そこで西小の子が私に声をかけてくれます。「先生、リュックのチャックが開いてますよ」あわてて背中から下ろすと全開状態。「ありがとう」といったやり取りもありました。

さて、京都に着き、新幹線から在来線に乗り換える時です。ホームに上がったものの乗ろうとする電車の情報が掲示されていません。車掌さんに尋ねるとかなりの遅延が発生しているとのこと。多くの人で混雑するホームでいつ来るかわからない電車を待つわけにもいかず、階段を降りて通路の端に身を寄せました。そんな折、ある先生がJRに勤めた経験のある人に連絡をとってくださり、「混雑して情報が錯綜する京都駅で待つよりも、堅田まで帰る方が賢明だ」とのアドバイスをいただき、再度ホームに戻って堅田行きに乗り込みました。堅田駅のホームで次の電車を待つ頃には、どの子にも疲労の色がかくせない状況でしたが、45分遅れの電車に乗ってマキノを目指しました。近江今津駅到着の前に車内にアナウンスが入ります。車両の引き離しを行うということです。同じ車両に乗っていた高齢の女性が「ここに乘って帰れるやろか？」と不安そうに席を立ちます。そこへある南小の子が「大丈夫ですよ。ここは〇両目で、私たちもマキノに帰るんです」とすかさず声を出し、「そうなん。ありがとう」と女性は安心して再び同じ席に腰を下ろしたのです。

3小学校の交流もちろんですが、旅先で出会った人との交流、そして多くの人に支えられていることを感じた1泊2日の修学旅行が終わりました。

③ マキ中祭への参加 11/7

マキノ中学校で開催された「マキ中祭」に東西南3小学校の1,2年生と東西2こども園の5歳児が招待され、中学生が運営するブースで楽しませていただきました。中学生が案内してくれて、「わなげ」や「まとあて」などの遊びを楽しんで来ました。

このように、5年生は、「フローティング・スクール」や「陸上競技練習」で、4年生は、「びわ湖ホール鑑賞」や「やまのこ学習」で3小学校の交流活動を実施していますが、1～3年生においては交流活動が少ない状況にあります。これらの学年は、新しく建設予定の『マキノ小学校』でクラスメイトになることから、もっと交流をさかんに行いたい学年です。まず今年度は、3学期にそれぞれの学年で交流の機会を設定する予定です。2年数か月後の開校に向けて、これまで以上に3小学校の交流ができるように考えています。

マキノ南小学校児童の体力は？

滋賀県で開催された国民スポ・障スポが終わり、南小の運動会が終わり、スポーツに触れる秋を過ごされた方も少なくないと感じます。そんなスポーツをする・見る・支えることに関連して、1学期に実施しました体力テストの結果からマキノ南小児童の体力の様子について現状を報告させていただきます。1～3年生は、①握力②長座体前屈350m走④ソフトボール投げの4種目を、4～6年生は、⑤上体おこし⑥反復横とび⑦20mシャトルラン⑧立ち幅跳びの4種目を加えた8種目にチャレンジしました。その考察は以下の通りです。

1 筋力の部位によるバラつき … 腕力>体幹

すべての学年で男女ともに握力の数値が全国平均を大きく上回っています。ただし、物をつかむ力に優れているのですが、一方でソフトボール投げは平均的であり、ボールをしっかりとつかんではいるものの、投げる力に変えることが苦手なようです。投げる力は、学年が進むにつれて全国平均を上回る傾向があり、遊びのなかでその力をつけているのであれば好ましい傾向と言えます。ただ、4年生以上が実施した「上体起こし」は全校平均よりも低い傾向にあり、腹筋を使った運動が弱い傾向がわかりました。高い握力を生かしながら、体幹を生かす運動を取り入れるなどの取組を進めなければいけません。

2 課題となるのは、すばやく身体を動かすこと … 瞬発力>敏捷性

全国平均と同程度の能力を有する種目は、50m走と長座体前屈です。長座体前屈は、体の柔軟性を測る項目で、ケガの予防だけでなく、スポーツのパフォーマンス向上にも不可欠な能力です。ところが、この柔軟性を持ちながらも、立ち幅跳びや反復横跳びでは、平均を大きく下回っています。反復横跳びは、素早く体を左右に動かす敏捷性を測る指標で、素早く体の向きを変えたり、細かなステップを踏んだりする能力に課題があることを示しています。遊びや体育科の授業において、素早く身体を切り返したり、瞬間的に力を入れて動きを表現したりするような運動を増やすことが求められます。

3 学年・性別による傾向

体力テストの結果からは、学年や男女によって得意・不得意な項目にばらつきがあるという特徴も見られます。50m走やソフトボール投げでは、高学年が全国平均を上回る傾向があり、長座体前屈では、中学年が全国平均を上回りました。これは、各学年の特性に加えて、体育科の授業や休み時間の過ごし方の違いが影響しているかもしれません。

4 まとめ

マキノ南小学校児童の体力については、筋力と柔軟性を備えながらも、それを瞬発力や敏捷性として生かし切れていない現状が考えられます。学校や家庭での体を使った遊びや体育科の授業において、これらの課題を克服していきたいと考えています。



マラソン大会



修学旅行



マキ中祭



12月 学校行事予定

1日 (月)	委員会活動 高島市展覧会終了(11/27～)	12日 (金)	ニセコとの交流(6年)
4日 (木)	マキノ中学校体験入学 人権集会	17日 (水)	おはなし会 夢のきっかけ講座
8日 (月)	クラブ活動 園小交流会(1年)	18日 (木)	夢のきっかけ講座 学期末個別懇談会
9日 (火)	たてわり遊び	19日 (金)	学期末個別懇談会
10日 (水)	ネットモラル講座(4校時)	22日 (月)	給食終了
11日 (木)	図書館訪問貸出	23日 (火)	2学期終業式

※ 10日のインターネットに関する学習は、保護者のみなさまもお聴きいただけます。参加をお待ちしております。

学校評価にご協力ください



(地域のみなさまも学校教育にご意見をお寄せください。)
←←← ご意見は、こちらから(メール)

別紙で保護者のみなさまには学校評価をお願いしています。(12/3期限)
また、地域のみなさまには学校教育に関するご意見をお寄せいただき、「地域とともにある学校」を目指していきたいと思ひます。

令和10年には3小が統合を迎えます。よりよい未来に向かってご意見をお待ちしております。